

## 各事業部の活動目標と方針

初年度のスタートに当り、各事業部ごとに活動の抱負と計画の概要を語っていただきました。\* 事業計画の細部については案の段階ですのでご了承ください。

### 事務局

テキスタイルデザインをキーワードに掲げ、関係する全ての人に呼び掛けて輪を広げている実に素晴らしい現実がここにある。過去さまざまな分野に限って、また限られたテーマのもとに会したことはあったが、多くの人がそれぞれの目的をもって、ただ一つ“テキスタイルデザイン”という大きなキーワードのみを共有して成り立っている世界は無数の可能性を秘めたガイアに見える。このような生命体にまず乾杯。

さて、この広大な内容を持った魂が、内見的にも外見的にも魅力のある形になる過程においては、外部の環境の変化・事情によって内容の離合集散を繰り返し、形も変化する、しかし、常に問題を真正面に捕らえ情熱を注ぐなら、人間社会のシステムの中に違和感なしに納まる、それも社会に貢献すべくポジションを得て歓迎される存在感をもってということになる。

私たち事務局は、形づけられやすく修正可能な柔軟な塊であることを念頭に置いて、集まられた方々の活動がしやすい環境を整えていくことが役割と考え活動します。メンバーの方々が創造される素晴らしい形を夢見て伴に歩みたいと思っていますので、よろしく願います。

#### ■初年度事務局業務計画

##### ① 役員会開催等

常務理事会…4月10日、常務会…6、8、12月及'96/2月、年度後半には次年度総会の会場決定、準備を進めます。

##### ② 会員名簿の作成

3月度には簡易版を配布する他、'96年3月での公式名簿配布にむけて、アンケート実施など。

##### ③ マーク、ロゴの決定とTDA V.I.製作

公募マーク、ロゴの検討と修正作業を進め、5月には決定とする。また、名刺、レターヘッドなど Visual identity toolの製作を進めます。10月提案の予定。

##### ④ 規約関連

慶弔及選挙規約を、それぞれ4月10日に決定、'96/3月度には規約追補を配布いたします。

この他にも、会員レベルでの拡大ミーティングの実施(5、7、9、11月及び'96年1、3月)と提案活動。各分会、研究会のフォローなど、多岐にわたり活動のサポート。懸案の事務所設置についての具体的な検討も行います。

### 事業

T.D.A.事業部門の基本的なスタンスは、インサイドワークからアウトサイドワークへ広げてゆく発想と同時に、具体的な各種事業発展を通して、全国的規模の協会として、国内外へ発信することだと認識しています。

初年度事業テーマは、「テキスタイル・デザインの活性化」とし、将来的な、中〜長期ビジョンへつながる、基礎固めの年度と考えています。

担当役員一同、大きな夢とロマンを持って頑張りますので、会員皆様のご協力、願います。

#### ■初年度事業計画

##### ① セミナー/見学会

6/2,3日 島精機見学会と大阪繊維リソースセンターでのセミナー開催を皮切りに、8月 桐生、10月 名古屋、12月 石川リソースセンターでも見学会、セミナーを実施いたします。

##### ② 出版

「テキスタイルデザイン」トレンド '97をタイトルに、「どりーむ」編集部との共同企画を検討中。'96年1月、創刊号出版を目指します。

##### ③ イベント/展示会

NIFとの共同企画により、'96ジャパンテックス展における開催を目標に進めます。

##### ④ T.D.A賞

10月の選考委員会設定から、'96年2月の選考会を経てTDA賞を決定、4月総会において表彰式を行いません。

詳細は、順次、ご案内をいたします。

### 交流

今までは、テキスタイル協会が存在していないことを不思議に感じていた人たちも多かったのではないのでしょうか。私もその一人でしたが今回、長い時間をかけて設立に努力された方たちのお陰でスタートに至り、これからは国内はもとより海外にも広く、アピールしていかなければなりません。その役割を担う交流委員会を担当することになりました。

他の分野のデザインに比べてテキスタイルデザインは非常に広範囲な職域を持っていますので、まずは、会員相互のコミュニケーションを計り、お互いの違ったテキスタイルワークを通して活動の場を広げていくことが先決だと思います。

初年度はまず、会員間の意見、要望、情報等の交換を中心に内部の充実から基礎固めを着実にやっていくことが大切だと考えています。

そのためには会員一人一人が自分たちが育てていく協会として少しでも多くの意見をお寄せ頂くことを期待いたしております。

交流委員会では以下のような計画案を立てましたので是非、皆様のご協力をお願いいたします。

#### ■有意義な企画、立案、実行のために各会員の積極的な参加とアイデアを募る。

#### ■賛助会員との交流

ショールーム訪問、勉強会、懇親会